

O's news

オースニュース

2015

第127号

8

2015年8月1日発行

〒674-0064 兵庫県明石市大久保町江井島1661-1 TEL:078-938-1238/FAX:078-938-1236 mail info@onc.akashi.hyogo.jp

地域医療連携室 TEL:078-938-1288/FAX:078-938-0399

<http://www.onc.akashi.hyogo.jp/>

発行責任者:院長 大西 英之 編集責任者:事務次長 瀧原 健司

婦人科系の症状で 発症する脳外科疾患

脳神経外科 部長 兒玉 裕司

頭蓋骨の中に下垂体という器官があります。これは頭蓋骨の底の部分に脳からぶら下がるように存在し、ホルモンを作る器官です。この下垂体の腫瘍(図1)は



比較的多くみられます。大半は良性腫瘍でゆっくり成長しますが、下垂体機能に変調を来し、ホルモンのバランスが崩れることがあります。特に多いのがプロラクチンというホルモンの異常です。プロラクチンは女性の月経周期や妊娠/出産、産後の乳汁分泌などを調節する役目のホルモンです。このため、無月経や乳汁分泌など女性特有の症状を来し、産婦人科で高プロラクチン血症と診断されることが一般的です。放置した場合、不妊症や女性ホルモンの低下のため骨粗鬆症(骨がもろくなる)になりやすいなどの問題もあります。高プロラクチン血症の全ての方が下垂体腫瘍ではなく、

服用中の薬物の副作用など他の原因もあります。

腫瘍の治療は、薬物治療・手術・放射線治療があります。最近の薬物治療ではカベルゴリンという薬剤が一般的です。多くの場合に腫瘍の縮小とプロラクチン値の正常化が得られるものの、残念ながら効果がない場合もあります。プロラクチンを正常化することで症状は改善しますが、薬を中止した後の腫瘍再増大は避けられません。最近では、腫瘍が小さいうちに全摘出来れば根治が可能となっています。このためにも最初にしっかり診断することが大事です。

手術は、鼻から内視鏡というカメラを挿入し腫瘍を摘出する方法が一般的です。頭や顔を切開する必要はありません。完全に摘出できた場合はプロラクチンの値はすぐに正常化し、そこで治療が終了となります。残存腫瘍があればやはり薬の治療を追加することとなります。

放射線治療は、通常は最初の治療として行うことはありません。再発を繰り返す場合、薬が使えない場合、手術のための全身麻酔が無理な場合などに検討することがあります。

大西脳神経外科病院の理念

生命を尊厳し、科学の心と芸術的技術と人間愛をもって病める人々に奉仕する。

大西脳神経外科病院の基本方針

- 1.生命と人権を尊厳した医療を実践する。
- 2.神経疾患の専門の高度医療を実践する。
- 3.常に新しい医学の修得に励む。
- 4.救急医療は医療の原点と考え、24時間対応する。
- 5.地域の医療機関との連携を密にし、地域協力型の医療を志向する。

患者さまの権利と責務

- 1.ご病気になられた場合は、私どもの良好な信頼関係のもと、平等・公平に当院における最高の医療をお受けいただく権利があります。
- 2.ご病気に関しては、わかりやすく納得いく説明を受け、治療をお受けいただく権利があります。
- 3.ご自身の診療記録については、開示を求める権利があります。適当と判断できれば、ご本人、あるいはご家族に診療記録を開示いたします。
- 4.また、その診療情報が他人に漏れないように求める権利もあります。
- 5.治療方針については、第三者の意見を聞くことができる権利があります。その場合、私どもは、必要とされる医療情報の全てを提供いたします。
- 6.私どもが、上記のことを達成し、良質で安全、効率的な医療をご提供するために、患者さまには、次のことをお守りいただきますようお願いいたします。
 - ①ご自身の健康に対する正しい情報の提供と、医療への積極的な参加
 - ②他の患者さまの診療に支障をきたさないためのご協力

感染防止対策に関する 当院の取り組み紹介

副看護部長 木村 ひとみ

院内感染対策は、院内感染の発生を未然に予防すること、発生した感染症が拡大しないように制御することです。当院の感染対策は、感染防止委員会、インフェクションコントロールチーム(ICT)、看護部感染委員会この3つの委員会を中心に感染対策に取り組んでいます。主な活動をご紹介します。

感染防止委員会は、感染に関する院内全体の問題点を把握し、対策を講じ、周知・徹底を図っています。その一環として、全職員を対象として年2回以上の研修会を実施しています。ICTは、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、作業療法士で構成されています。毎週1回環境ラウンドを実施し、感染患者の把握に努めています。また、抗菌薬の適正使用に向けて介入を行っています。看護部感染委員会では、感染予防の基本的な考え方や具体的方法をスタッフに周知させ、現場での感染対策の実践を行っています。

医療関連感染から患者さまや職員を守るために、全職員が感染対策を実践出来ることを目指し、努力していきます。今後ともよろしくお願いたします。



外来の紹介

外来看護師 田中 志帆子

当院には1日平均194名の方が受診され、頭痛、ふらつき、手足のまひ、物忘れなど様々な病状の患者さまが来院されます。不安な気持ちを抱いている方も多いと思いますが、当院では「ワン・ストップ診療」体制を実施しており、1日で各検査から結果説明・処方までを行い、その日のうちに不安が軽減できるよう取り組んでいます。



看護師は問診票を確認、お話をお伺いして、優先順位を判断し、スムーズな診察と治療開始ができるよう努めています。

各診察室では、クランクができるだけ患者さまのご希望に沿うよう検査や診察の予約をお取りしています。

また、看護師は検査や手術を予約された患者さまにオリエンテーションを行い、安心して入院できるよう十分な説明を心がけております。救急対応などが入ると外来の流れも遅れがちになりますが、患者さまが安心、安全な医療を受けていただけるよう外来スタッフ一同協力しあい頑張っています。

診察時間や、検査についてなどわからないことがありましたら、お気軽にお声かけください。



日本の四季暦「二十四節気と七十二候」のお話

ガーデンQoo 秋吉 美穂子

はづき

葉月

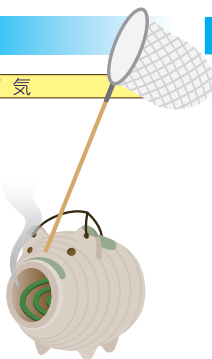
旧暦では秋にあたることから、木の葉が落ちる「葉落ち月」の略という説が有力です。厳しい暑さが続きますが、クーラーを上手に使い、熱中症に気をつけましょう。こまめな水分補給を心がけながら、夏を楽しみましょう♪

二十四節気

十二節気

たいしょ

太暑



七十二候

8/2~6(三十六候) 大雨時行 たいうときどきふる

夏空に入道雲がもくもくと湧き、雷と共に土砂降りの雨、夕立が増えます。穴子の旬は夏。姿は鰻と似ていますが、鱗がなく海で一生を過ごします。焼穴子、かば焼き、天ぷら…淡泊な味わいは料理方法も広がり、暑い日本の夏に欠かせない滋養源です。



十三節気

りっしゅう

立

昼の上では秋となり、立秋を過ぎてからの暑さを残暑と呼びます。朝夕の風や、雲の形にほかに秋の気配を感じます。お盆の行事が各地で行われます。

8/7~12(三十七候) 涼風至 すずかぜいたる

暑い毎日の中、涼しい風が吹き始めます。夜になると虫の鳴き声が聞こえ、季節の変わり目を感じます。秋葵(おくら)は星形の切り口。ネバネバのぬめりは、アルコールから胃壁を保護する働きがあり、おつまみにおすすめです。

8/13~17(三十八候) 寒蝉鳴 ひぐらしなく

「カナカナカナ」と夏を惜むようにひぐらしの声がかえてくる頃です。その声は夜明け、日暮れ、雨の後など、気温の低い時間帯に限られます。クマゼミは午前中、アブラゼミ、ツクツクボウシは午後には鳴きます。



秋

8/18~22(三十九候) 蒙霧升降 ふかききりまとう

霧は秋の季語です。残暑の中、早朝など森や水辺に深い霧が立ち込めます。桃の葉をお風呂に入れた「桃葉湯」は、あせも、湿疹、日焼けを優しくやわらげます。

十四節気

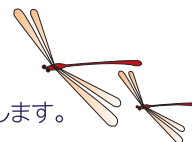
しよしよ

処

「処」は止まることを意味し、暑さが収まってきて、少しずつ過ごしやすくなります。立春から数えて二百十日(台風厄日)とも言われ、風鎮めと豊作を祈る「おわら風の盆」が行われます。

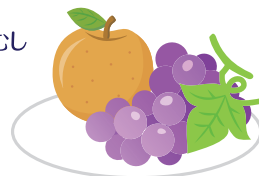
8/23~28(四十候) 綿柎開 わたのはなしべひらく

木綿の原料となる綿の実が弾け、ふわふわの純白の綿花が飛び出します。クリーム色のハイビスカスに似た花が咲きます。6月、水辺で羽化し、山や高原へ移動した赤トンボがこの頃続々と平地に戻ってきます。



8/29~9/1(四十一候) 天地始肅 てんちはじめてさむし

天地の暑さも少しずつ和らぎ、秋の気配をそこかしこに感じる頃です。ぶどうや梨のおいしい季節。やさしい秋の味覚です。



8月の季節の花 ハイビスカス

アオイ科ハイビスカス属／原産地：インド洋、太平洋の島々

花期：7月~9、10月／花言葉：繊細な美、新しい恋

南国の明るさ、たくましさを感じさせるハイビスカス。日本では「仏桑花(ぶっそうげ)」と呼ばれています。鮮やかな赤が印象的ですが、黄色・オレンジ・ピンク・白など花色も豊富です。じつはハイビスカス、朝早くに開き、夕方にしぼんでしまう一日花です。また30℃を超える真夏日は苦手で、花が咲きにくくなりますが、気温が下がり始める頃から10月頃まで次々と咲き続けます。夏は午前中のみの日当りを心がけ、水切れ、肥料切れに注意しましょう。沖縄では、生垣として防風林の役割も果たし、人々の暮らしの中に、明るく元気なその花は、親しまれています。





Ohnishi Neurological Center

外来担当医表

		月	火	水	木	金
1診	午前	大西	埜本	久我	林	兒玉
	午後	埜本	大西	久我	林	兒玉
2診	午前	高橋	高村	前岡	埜本	岡本
	午後	高橋	高村	前岡	村上	岡本
3診	午前	担当医	藤田	角田	藤田	担当医
	午後	担当医	藤田	担当医	藤田	担当医
5診	午前	担当医(第1・3丸山)	担当医	担当医	担当医	担当医
	午後	担当医(第1・3丸山)	担当医	角田	担当医	担当医
6診	午前	脳血管内治療外来 高橋	辻	脳血管内治療外来 大西(宏)	—	脳血管内治療外来 岡本
	午後	—	辻	脊椎・脊髄外来 林	脊椎・脊髄外来 久我	—
7診	午前	神経内科 立花	—	神経内科 藤田	内科 竈門(カマド)	神経内科 上田
	午後	神経内科 立花	—	—	内科 竈門(カマド)	<13:00~> 麻酔科 鈴木
脳ドック		埜本	埜本	久我	埜本	兒玉

※診察受付時間:月~金 <午前>8:30~11:30 <午後>13:30~16:30 (H27.8)

連携協力医療機関のご紹介 (No.84)

高野内科

院長 高野 貴継

診療科目:内科、循環器内科

住所:明石市大久保町駅前1-3-6

電話:078-935-7557

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前(9:00~12:00)	○	○	○	○	○	○
午後(16:30~19:00)	○	△	○	/	○	/

※4月~10月は火曜午後 休診

高野院長からのメッセージ

5月より新院長に就任した息子の高野貴継です。内科全般診察しています。往診も行っていますのでご相談ください。



連携協力医療機関のご紹介 (No.85)

甲斐診療所

院長 甲斐 秀紀

診療科目:内科・外科・放射線科

住所:神戸市西区神出町田井306

電話:078-965-1405

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前(9:00~12:00)	○	○	○	○	○	○
午後(17:00~19:00)	○	/	○	/	○	/

甲斐院長からのメッセージ

神戸市西区神出町を中心に訪問診療を含め地域の要望に答えられる医療を心がけています。



お知らせ

他院にも掛っておられる方は、お薬手帳や血液検査データ、紹介状などもご持参ください。紹介状がある方も保険証は必要です。必ずご持参ください。

JR大久保駅~山陽電鉄江井ヶ島間で無料送迎バスを運行しています。受診予約はかかりつけの診療所からいただけます。詳しくは地域医療連携室まで。駐車料金は1時間毎に100円です。外来患者様にはサービス券をお渡しします。

